

平成 22 年度 One Book One OSAKA 事業子ども運営委員会

1. 日 時 : 平成 23 年 3 月 5 日 (土) 午後 1 時~3 時

2. 場 所 : 大阪市立中央図書館 5 階 中会議室

3. 会議内容

・ 議事

(1) 「大阪市 One Book One OSAKA 事業」について (事務局より)

① 本事業の概要

「大阪市 One Book One OSAKA 事業実施要綱」参考

② これまでの経過

③ One Book One Chicago

(2) 「One Book—大阪市の 1 冊の絵本—」の候補について

① 最終得票状況報告(事務局より)

総投票数は 13,012 票 (第 1 回は 8,466 票)

1 冊の絵本に入る投票数が多くなっている。今回は事業の浸透が影響してか 5 割増となる。

また、第 1 回では絵本以外の物語や主題の本への投票も多かったが、絵本への投票率が増加した。年齢層別ランキングも出し、年代により好まれるものが様々であることがわかる。

② 上位選出の絵本について

子ども運営委員の意見

- ・ 去年と同じ『はらぺこあおむし』だと同じイベントをするのかな、と思われるので避けたほうが良い。シリーズでは“1 冊の本”にならないので、単独本の『ぐりとぐら』1 冊だけを選ぶほうがよい。
- ・ 2 年連続同タイトルではないほうがよいと思う。『ぐりとぐら』を第 2 回の One Book にしたら良い。
- ・ 同タイトルだとイベントレパートリーも減るので違うタイトルがよい。
- ・ 昨年イベント来場者ががっかりしないように、One Book に選ぶタイトルは、あえて変えるべき。

- ・ 皆が言ってくれたとおり『ぐりとぐら』がよいが、もし『はらぺこあおむし』にするのなら昨年とイベントを変える必要がある。
- ・ 3位の『おまえうまそうだな』がよい。特にティラノサウルスの心の変化について強いメッセージ性があるのでOne Bookに選ぶのがよいと思う。
- ・ 『ぐりとぐら』はシリーズもいっぱい出ているので、皆興味を持ってくれるだろう。
- ・ 2年連続同じタイトルを選ぶ事業は、あまり面白いと思われなさそう。
- ・ 2年連続同タイトルになれば、イベントに参加する人も企画する私たちこども運営委員も興味を引ひかれない。

→ 子ども運営委員の意向としては第2回のOne Bookは、『ぐりとぐら』。
では、『はらぺこあおむし』の得票数はどう捉えるべきか？

子ども運営委員の意見

- ・ 昨年の『ぐりとぐら』と同じ扱いにしたらよいのではないか。つまり、上位ランキングの紹介を頻繁に行う。
- ・ ランキングの結果は多めに公表し、前面に出すべき。
- ・ 『はらぺこあおむし』が総合的に1位だったということを示すだけでよい。
- ・ 『はらぺこあおむし』は、特別扱いにすべきだろう。

→子ども運営委員会の意見としては、「『はらぺこあおむし』は得票数を稼いだことを前面に打ち出し特別扱いをする」とし、7日の大人のOne Book One OSAKA事業運営委員会で伝えることとする。

(3) 第3回One Bookの投票について

- ・ 第3回ちらし兼投票用紙(案)について(事務局より提示)

子ども運営委員の意見

ちらし

- ◇ 明るい色がよい。
- ◇ 緑色がよいかも。
- ◇ 黄緑色がよい。
- ◇ 『キミの…』の文字部分について、字の並べ方を弧を描くようにしてみたらどうだろう。
- ◇ キャラクターの下に名前を入れるべき。
- ◇ 締切などが書いていると難しくとらえる子がいるかも。
- ◇ 説明の部分が細かくてわかりづらい。

投票用紙

- ◇ 裏の文章を書く欄が少ない。絵をメインに描く人はよいが、字を書きたい方もおられるかも。薄くでも線があったほうがよい。
- ◇ 文章を中心に書きたい人用の投票用紙と、絵を自由に描きたい人用の投票用紙を分ければよいのでは？
- ◇ 二種類作成するのは経費がかかるので、1種類にして経費を抑えるべき。
- ◇ 1種類にするとして、全体的に薄い線を入れてはどうだろうか。字を書くときにはまっすぐに書いて、絵を描くには邪魔にならないように。

(4) 今後の子ども運営委員の活動について

- One Book の報告 (4月5日)
- 第2回 One Book One OSAKA 発表会 (4/23)
- One Book にちなんだ行事等の企画

運営委員長・副運営委員長の選出

運営委員長 : 谷川くん
副運営委員長 : 中西さん

